

平成31年3月期決算について

- ・ 営業収入60,409百万円、営業利益4,136百万円、当期純損失193百万円
- ・ 6期連続増収、営業黒字を達成
- ・ 営業利益率6.8%、平均搭乗率87.8%、有償旅客数551万人

Peach Aviation 株式会社(以下:Peach、代表取締役 CEO:井上 慎一)は、本日、平成31年3月期の決算を取りまとめました。

営業収入は60,409百万円(前期実績:54,740百万円)、営業利益は4,136百万円(前期実績:5,793百万円)、最終損益は統合に係る費用を前倒しで計上したことから、193百万円の当期純損失(前期実績:当期純利益3,728百万円)となりました。

当期における営業利益率は6.8%、平均搭乗率は87.8%(有償ベース)、有償旅客数は約551万人でした。

CEOの井上 慎一は「2018年度の平均搭乗率は、おかげ様で就航以来の最高となる87.8%を記録しました。ご利用いただいたお客様、そして日頃からサポートいただいているみなさまに心より感謝申し上げます。Peachは今月1日より、バニラエアからの初の移管路線である東京(成田)ー沖縄(那覇)線を運航開始するなど、今年度末をめどに完了する統合に向けたプロセスを着実に進めており、バニラエアが培ってきた首都圏を中心とするネットワークを活かし、国内線ならびに国際線ともに、さらに路線を拡大してまいります。また、2020年には中距離LCC事業へ参入し、更なる事業成長を推進いたします。Peachはこれからも安全運航を最優先に、健全な経営を維持し、独自性にさらに磨きをかけることにより、アジアのかけ橋への歩みを進めてまいります」と述べています。

Peachはバニラエアとの統合完了後、運航品質、事業規模、経営の安定性においてトップレベルとなる、アジアのリーディングLCCを目指します。

【損益計算書】平成31年3月期の業績(平成30年4月1日～平成31年3月31日、単位:百万円)

科 目	当事業年度	前事業年度	対前期比
営業収入	60,409	54,740	110.4%
営業利益	4,136	5,793	71.4%
経常利益	3,641	5,677	64.1%
当期純利益(損失)	△193	3,728	-